



# 浜田まさとし通信

発行所：公明党川崎市議団 発行人：浜田まさとし 川崎市小田7-2-1-214 Tel.333-4512 Fax355-5192

HPアドレス <http://www.m-hamada.com> 印刷所：光明印刷 川崎市幸区塚越4-345

## 遺族の手続きのワンストップ化を!

12月5日の市議会で代表質問を、12月17日に一般質問を行い、(1) 家族が亡くなられた場合の役所での手続き、(2) 災害対策としての密集市街地の改善、(3) 若者の人生設計への支援、(4) 観光振興によるきれいで安全で暮らしやすい街づくり、について質問しました。



## 遺族の負担軽減を!

大分県別府市は、2016年から市役所に「おくやみコーナー」を設置し、家族が亡くなられた時の手続きをその「おくやみコーナー」だけでワンストップでできるようにしました。神奈川県大和市も2018年10月から同様の取り組みを始め、「ご遺族支援コンシェルジュ(よろず相談係)」が遺族に対応。電話予約で、市データベースから故人の保険や手当などを確認し、窓口に出す書類に必要な事項が自動で印字される仕組みも作っています。川崎市も取り組むべきと質問しました。

市民文化局長は「川崎市の年間死亡者は、2000年の6,902人から2017年の10,997人へと17年間で60%増えている。遺族は多い場合には10種類以上の手続きが必要です。他都市の取り組みを参考に、遺族に寄り添った支援を研究していく」と答弁しました。

## 密集市街地の改善を!

防災対策を強化するため、密集市街地の改善へ向け、道路幅を広げる路線を増やし、消防車などの緊急車両が通りやすい街づくりをすべきと質問しました。

まちづくり局長は「密集市街地での古い建物の除去や耐火性能の強化などへの補助制度は、この1年半で136件の利用があり、今後、道路拡幅や交差点のすみ切り(角をななめに切り曲がりやすく)の拡大についても検討していく」と答弁しました。

## 若者の人生設計への支援を!

若者が進学や仕事だけではなく、結婚や出産など長期の人生設計も考えられるように専門家セミナーを検討し、出会いの機会づくりも進めようとして提案。市議会議場などを使った結婚式のプレゼントも検討しようとして質問しました。

市長と総務企画局長、こども未来局長は「キャリアのあり方と生き方についての教育を推進していく」、「商工会議所が行う婚活イベントを後援するなど、商店街の活性化や市の魅力アップにつながる企画への協力を行う」、「新たな門出のお祝いについては、公共施設の有効活用の観点から他都市の事例を調査する」と答えました。

## 観光で街の魅力アップを!

観光客が訪れたい街づくりを進めることは、住民が住みたい街づくりにつながるという観点から、ハロウィンイベントを安全に行うなど、観光施策の充実を求めました。

経済労働局長は「2017年の川崎市への観光客は1,565万人、宿泊者は190万人で、そのうち外国人の宿泊者は22万人でした。宿泊やイベントの安全対策を強化するとともに、きれいで暮らしやすい街づくりを進め、川崎をさらに観光したくなる魅力的な街として発信できるようにする」と答えました。



# 皆さんの声の実現しました!



池上新町

デコボコがひどかった道路を改修



浜田がはし公園

公園遊具がきれいになりました



小田3丁目

飛び出し事故を防ぐため路面標識を設置



犬島5丁目

木が伸び放題で不衛生だった植栽帯を整備

## 高松市の水道施設を視察

## 視察報告



人口減少社会を迎えたことから、8市8町が独自に運営していた水道事業を、全国初の「県広域水道事業」として一本化させた香川県を視察。もともと四国山地の北に位置して降水量が少ないため、高知県の早明浦(さめうら)ダムから水を引き、安全安心で美味しい水を供給してきた歴史など、長年の根気強い取り組みに感動しました。

## 川崎ニコニコ計画(カーブミラー清掃)



## 笑顔が広がるきれいな街へ!

四谷町内会等の有志の皆さんで10年以上にわたり、公園や歩道、カーブミラーの清掃を進めています。今回は12月30日の朝から寒風の中を、みんなの笑顔が広がる街へ、との熱い思いで取り組みました。